



THE MARSHALL ISLANDS REGISTRY

PSC最新情報 – 旗国・船級協会によるアジア、ヨーロッパ、及びアメリカ地区に於ける動向

2025年3月11日(火)

[日比谷スカイカンファレンス](#)(日比谷フォートタワー11F)

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目1番1号 Tel: 03-3508-1690

主管庁が寄港船に対して行う、海洋環境保護、海上における人命及び船舶の安全・保安等を定めた国際基準を満たさない船舶の指摘及び、是正勧告、ポートステートコントロールは年々、検査内容が多様化し、現在総数9に達するMOUに於いても検査対象項目のばらつきがみられ健全な船舶運航に支障を来し始めている。本セミナーでは、アジア地区、オーストラリア及び中華人民共和国、ヨーロッパ地区、イタリア及びベルギー及びアメリカ地区、北米及び南米に於けるPSCの現状、傾向及び対策をマーシャルアイランド海事局各担当事務所、及びゲストスピーカーより講演します。

- 13:30** **開会/緊急時避難経路の案内**
司会者/施設担当者
- 13:35** **開会の挨拶**
Bill Gallagher、マーシャルアイランド海事局 社長(Reston)
- 13:45** **2023 - 2024年 マーシャルアイランド籍船 PSC 受検結果**
栗原 道則、マーシャルアイランド海事局 日本代表
- 14:00** **Session I: オーストラリア AMSA/中華人民共和国 MSA 最新情報**
Captain Sascha Dyker、フリート運航マネージャー(マーシャルアイランド海事局 香港事務所)
- 14:45** **Session II: ヨーロッパ、イタリア、ベルギー 最新情報**
ゲスト講演者: 清水 智司氏、日本海事協会検査部 主管
- 15:30** **休憩**
- 15:45** **Session III: アメリカ USCG/ブラジル 最新情報**
Brian Poskaitis、フリート運航部 副社長(マーシャルアイランド海事局 Baltimore/Annapolis)
- 16:30** **閉会の挨拶**
Annie Ng、アジア地区代表取締役、マーシャルアイランド海事局 バンクーバー事務所

講演者略歴



Bill Gallagher

マーシャルアイランド海事局の法務最高責任者。2000年より社長。1991年入社以来、マーシャル諸島政府とその立法議案に深く関与。世界中を巡り顧客本部での会合、海事セミナーでのプレゼンを行いつつ、極東地区、顧客とのビジネスに深く関与。入社前は、証券業界の法令順守が専門。米国上院実習生(インターン)として年間表彰を受け、ドイツ連邦議会に於いてドイツ語の習熟に磨きをかけ、ドイツ文化に精通。ペンシルバニア州インディアナ大学で芸術学士、メリーランド州立大学より国際交流学修士を授与される。バルティモア大学法学部にて法学博士号を取得、現メリーランド州弁護士会会員。



栗原 道則
Michinori
Kurihara

2023年1月入社、同年4月より日本事務所代表。1986年より20年間、住友重機械工業株式会社にて船舶設計業務に従事。2006年、生産計画・技術グループ所属中、ロイド船級協会横浜に図面承認検査員として転職。在籍16年間に様々な業務を担い、主席検査員、ロイド日本事務所統括を歴任。ロイドに於ける専門は船級規則及び海事法、特に国際条約、荷役装置、及びタンカーの運航に関し造詣が深い。大阪大学船舶工学科卒。



Sascha Dyker

2012年、コンサルタント、2013年11月旗国検査官として入社。2018年4月、香港にて副フリート運航ディレクターに就任。入社前は検査を行うアズレ・マリン・ソリューション私的有限会社(SDN BHD)にて代表取締役。ドイツ、ハルトマン・シュバイツァーにてLPG 船のチーフオフィサー、船長として航海経験あり。ドイツルール科学応用大学、オルデンバーグ/オストフリエスランド/ヴィルヘルムズハーベン航海科研究所にて海上交通学位取得。



清水 智司氏
Satoshi Shimizu
(ゲスト講演者)

2002年4月、財団法人日本海事協会入会。入会後は図面承認業務、新造船及び就航船の現場検査業務等に従事。2015年4月よりドイツ、ハンブルクに5年間駐在し、当地での就航船の検査・審査業務に従事した。帰国後は、検査部主管として主にPSC関連の調査業務に従事。千葉大学大学院自然科学研究科電子機械科学専攻修了。



Brian Poskaitis

マーシャルアイランド籍船フリート運航担当副社長。マーシャル籍船隊の安全、保安、及び環境保全の監督責任者。USCG に26年間勤務後、2007年入社。USCG 在任中、(USCG)プログラム管理、及び全ての海難事故、海洋汚染、USCG 調査による環境破壊行為の監督責任者である主任調査・解析官。また、海洋安全、保安及び環境保護を担う(USCG 事務所の)戦略的計画・解析主任としても勤務。戦略的計画部責任者時に戦略的改善を指揮し、複数の国家海洋保安組織を率いた。ハリケーン「カトリーヌ」襲来中、救難活動を指揮するインシデントコマンドーに任命され、米国海軍艦、及び民間救助船の救難活動を指揮し、2000隻を超える商船を救出。この豊富な経験は(マーシャル籍船の)運航管理、危機管理、戦略敵計画及び、事故対策を強化。メリーランド州立ジョージワシントン大学、管理学科修士号、メリーランド大学、及びUSCG アカデミーよりシステム工学修士取得。



Annie Ng

1999年10月、アジア太平洋地区に於ける本社業務拡張を担う職員として入社。2004年8月、香港事務所所長、2005年11月、香港事務所代表取締役就任後、アジア地区代表。2022年3月1日開設のバンクーバー事務所所長として、アジア全般の海事及び会社登録業務責任を担い、北米とアジアを結ぶ重要な架け橋となる。カナダ、ブリティッシュコロンビア大学経済学部卒。WISTA(Women's International Shipping and Trading Association)会員。

マーシャルアイランド海事局 出席者



Theofilos
Xenakoudis

2022年、船主、及び運航者サポートをし、船籍業務の発展に注視する現職のチーフ・コマーシャル・オフィサーに就任。2001年ギリシャ海軍退役後、ピレウス事務所に営業開発マネージャーとして入社、地中海地区に於けるマーシャルアイランド海事局の発展に貢献。2007年、ピレウス事務所代表取締役役に就任。担当地区に於ける海事・海運業界とマーシャルアイランド海事局の関係を一層強化。ギリシャ海運界との強固な関係を維持しつつ、トルコ、イタリア、モナコに顧客市場拡大。2011年、世界営業促進オフィサー、2015年4月、同部署理事に昇進。ロンドン・メトロポリタン大学提携アテネ・ビジネス大学より「物流と海運(保険と海洋法入門)学士」、及び海洋法修士を修める。



Simon Bonnett

2010年、安全・技術部マネージャーとしてロンドン事務所入社、2018年1月技術部前任副社長に昇進、その後2022年4月よりチーフマリンオフィサー(CMO)。CMO はマーシャル籍フリート船を支える海事サービス部門の統括責任者。1997年よりロイド船級協会職員として船舶設計及び情報システム、船体構造図面承認、新造・既存船検査、及びアジア地区に於ける営業活動など多くの仕事に従事。2009年、前任営業改善計画スペシャリストとしてロンドン本部に戻るまで、9年間韓国に駐在。英国アポン・タイン、ニューキャッスル大学にて造船工学優等生として海洋工学士取得。



<https://forms.office.com/r/k0LUQXbXGX>

本セミナー終了後、アンケートご協力ください(上記 QR コード、リンクより 3月11日~3月18日)